

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩 心 会 発 行

13年 5月現在 逗子地区 葉山地区 大船地区 (合計)	会員数 126名 185名 26名 337名	13年 5月 (346号)	発行者 千 葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗
--	------------------------------------	---------------	----------------------------

行事予定

- 第10回神奈川地区青少年吟詠大会
日時・6月10日(日) 10時
場所・県立地球市民プラザ(本郷台下車)
出吟料・一〇〇〇円
申込先・青少年部長 立沢岳晴
☎〇四六六一二三一〇四九〇
- 応援の合吟 男性 富士山
女性 自 訟
- 碩心会温習会
日時・6月24日(日) 9時30分開始
場所・逗子市図書館ホール
- 準師範講習
日時・7月29日(日)
場所・平塚市民センター
- 指導者吟道講座
日時・8月12日(日) 9時30分受付
場所・エポックなかはら大ホール
携帯品・吟道手帳提出
受講料・一五〇〇円 テキスト、弁当代含
締切・6月3日
申込先・教務部 杉山岳雪
☎〇四六八一七五一〇八〇九

碩心会第4回吟道講座開催

- 日時・7月15日(日) 9時受付
場所・逗子図書館ホール
受講料・一二〇〇円 テキスト、弁当代含
申込・締切6月3日(日) 教務 杉山
- 第一講 中村 岳 郵 先生
課題 自然と人生
- 第二講 松井 正 岳 先生
課題 小楠公
- 第三講 中村 岳 愛 先生
課題 奥の細道より
夏草や 閑さや
荒海や 塚も動け
- 第四講 加藤 岳 洵 先生
課題 冑山の歌
山ざくら 中国を巡りて
- 第五講 加藤 岳 相 先生
課題 爾靈山
大楠公
- 第六講 千葉 岳 関 先生
課題 前兵児の謡

月報「碩心」のあゆみ

中村 岳 愛

この記事を書く前に、碩心会相談役三井岳瓏先生が3月10日、94才のご高齢で逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

偶々広報部より原稿の依頼があり「碩心」のあゆみでも振り返って書いてみようかなと思っていた矢先でした。

月報「碩心」は昭和47年8月、当時の会長総務でいられた故三井先生により第1号が発行されました。当時は「吟道月報」のタイトルで、会員数二百数十名、支部教場数十名からはじまりました。その頃の手書きの黄ばんだわらばん紙の月報は宝ものです。頁をめくれば入退会者の名簿に目がゆき、あの人こ人が目に浮かんできます。

- 第1号：昭和47年8月 編集・三井雲岳
- 第45号：〃 51年4月 (岳瓏)
- 第46号：〃 51年5月 編集・加藤冽風
- 第69号：〃 53年4月 (岳洵)
- 第70号：〃 53年5月 編集・中村愛風
- 第310号：平成10年5月 (岳愛)
- 第311号：〃 10年6月 編集・白井岳瓏

昭和58年4月(129号)より活版印刷となり冒頭に松井岳洋先生の「誠の心の大切さ」の記事で飾っていただきました。そしてその時点の支部数(27)・会員数(506名)と記録されています。その後会員数最多は59年7月号で(533名)と記載され、過去最多数です。

月報の内容をふりかえって思うのは、今は亡き白井寿岳先生が連載された「連吟メモ」の記事で、貴重な文集で今でも大切に保存させていただいています。又特集号として

「山形吟行会・60年7月号」

寒河江吟友会と姉妹会となり、昭和60年6月、さくらんぼ狩吟行会を行ない、今は亡き我孫子岳晴先生も参加、山形吟行会特集号として8頁版を発行しました。

「松井岳洋先生を偲ぶ・3年4月号」

平成3年3月1日、総本部理事長、そして碩心会を創立された松井岳洋先生がご逝去され、松井先生を偲ぶ特集号として8頁版発行。「碩心会創立60周年大会特集・9年6月号」平成9年5月25日、碩心会60周年記念大会が行なわれ、6月号(299号)は吟道大会特集号として8頁版を発行。次の65周年への参考としてもお役に立つのではと思います。

十段審査を終えて

堀内D 伊藤峰 岳

去る4月14日、桜の花も葉桜に変わる春うららかな一日、神奈川県本部十段の審査会が磯子公会堂で行なわれました。

受審についての説明の中で、平常心で吟じて欲しいとの橘川先生のお言葉がありました。私はその言葉を胸に心を込めて吟じました。振り返ってみますと、私には詩舞のための吟(良い「舞い」をするのには、詩の心を理解しなければならぬ)であったと思います。

今こうして最後の審査を終えてみますと感無量です。今まで「舞い」に重点をおいておりましたので、これからのような気持ちで吟と向き合ったら良いのか、と改めて自分に問うてみました。

作者の気持ちになり、その背景に思いを馳せ、感情を込めて吟ずることが出来るようになりたいと……。吟は喉だけで吟ずるのではなく、心で吟ずるものであると信じて、これからも精進してゆきたいと思えます。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

第34回詩吟舞舞大会に参加して

逗子A 田中耕風

去る4月15日、平素からの稽古の成果を発表すべき大会に参加しました。

プログラムの最初から熱のこもった吟の発表が続き、雰囲気も盛り上がってきました。

式典では千葉岳関先生が「今回の大会は21世紀初の大会で、2世紀に亘って生きてきた証を噛みしめ、大会を意義あるものにして欲しい」と話があった。その言葉を反映しているかのように、各人が熱心に且つ一生懸命吟を発表されていたのが印象的でした。その巧拙は別として懸命さにおいては、年配者の方が目立っていたのではないかと思いました。

一日目のプログラムを終え振り返ってみて全体から受けた感じは、若手の方達よりも年配の方々の懸命さが際立ったことを思うと、若手の熱心な指導者の育成が21世紀にあたり更に吟を発展させるための重要課題ではないでしょうか。

新世紀に突入したからではなく改善、改革は、常に考え続けられるべきであり、ひいては吟道全体に影響を及ぼすことである。

新天地で奥伝審査

滝の坂 行谷隆風

私は以前、碩心会の平松教場で詩吟を習っていたのですが勤務の都合で退会しました。

今回、幸いにも昔の仲間からのお誘いを受け、十年ぶりで再入会しました。

新天地・滝の坂支部は上村、佐久間両先生のご指導も素晴らしいし、仲間の方々も皆さん親切で暖かく歓迎して頂きました。

明るくて仲良くて、それこそ楽しい教場で本当に入って良かったと感謝しております。

週一度の和気あいあいとした雰囲気での練習はとても充実していて勉強になります。

審査は私にとって久しぶりのことなのでとても緊張しました。奥伝審査は課題吟が四種書き取り一種、大変厳しい試練でした。

定年後の自分には暗誦も難しいし、心もと無かったのですが、皆様のお陰で何とか合格することができました。ありがとうございます。

何回も練習した甲斐がありました。これを機に一層頑張りますので宜しくお願い致します。

『詩吟と発音』

昭和53年8月の総本部夏季吟道大学講座

(当時は大学講座と称していた)のテーマとして講義された内容について、皆さんの吟道研鑽のために掲載します。

一、日本語でなければ詩吟を吟ずることはできないか。

外国語では詩を歌うことはできても、吟ずることはできません。外国語では総ての語が母音で終わるとは限りませんから、余韻を引くことが不可能なのです。

CAT、CAP、HELPなど、子音で終わる語には余韻と言うものはありません。英語のみならず、どんな外国語でもそうです。

中国語で吟ずるといのは一種の節をつけて歌うことで、余韻を引いて吟ずるといふことはできません。実に詩吟は日本語の生んだ世界に例を見ない芸術だということができません。

(註)カロリン群島とニューギニアの一部族に、日本語と同じ母音構造を持った言語族があるとの報告があります。

日本語の特色

「吟ずる」と「歌う」の違い

日本語の特色は、 カ 一字一音節 カ 必ず母音がつくということです。どんな語も余韻を引くことができ、それは a (ア)、 i (イ)、 u (ウ)、 e (エ)、 o (オ)の五つの母音か、もしくは n (ン)の音になります。日本語の ン (ン)は一音節ですから便宜上これを母音の仲間に入れて考えましょう。

「吟ずる」とは言葉の余韻を引いて、その余韻の変化により詩の情感を表現するもの。

(つづく)

詩舞紫舟流40周年記念大会のお礼

白井 岳 麗

去る4月30日、紫舟流創立40周年記念大会には、会長千葉岳関先生はじめ、大勢の先生方の合吟、又華やかな詩舞と併せて皆様にご協力いただきありがとうございました。

又役員としてお力添えをいただき無事に終了いたしました。当日はお一人お一人にご挨拶もできませず大変失礼いたしました。紙上をお借りして心よりお礼申し上げます。

東慶寺について

北鎌倉駅は円覚寺の境内を分けて出来上った横須賀線の駅ですが、大正時代は夏の避暑客用に夏期のみ開業し、昭和2年より普通駅となったそうです。東慶寺もその近くです。現在テレビで放映されている大河ドラマの主人公「北条時宗」は34才で逝去しました。

その夫人は出家して覺山尼となり、弘安8年に東慶寺を尼寺として復興。気の毒な女性を救済しようと、我が子の執権貞時に頼み、勅許を得て縁切寺法を定める。この寺に駆け込んだ女性は、3年すれば寺法離縁状を貰って婚家と別れて、再婚もできるようにした。住職は2代から4代まで名門の女性が継ぎ5代目は後醍醐天皇の皇女が用堂尼となり、鎌倉で殺された弟の護良親王の菩提を弔う。その後、徳川家康は孫である千姫と豊臣秀頼の間に生まれた娘を8才で東慶寺に入寺させ、天秀尼となり十万石の格式を与え、尼門跡寺として続いた。江戸や近在の不幸な女性のために東慶寺は大いなる救いの手をさしおける寺であった。現在の鎌倉では英勝寺のみ一寺が尼寺である。

短歌

堀内E 西岡晴岳

ゆく春の名残り惜しみて風に舞う

白き花びらそっと手に受け

今朝もまた何を語りてはしゃぐのか

大空高くひばり飛びゆく

手をひかれ杖を頼りの楽しみは

戸毎に変わる庭のいろどり

入会

368 森川 正道 三浦郡葉山町一色七一一三三

(東伏見) ☎〇四六八―七五―九三三三

紹介者・山本新山

369 名越 滋子 逗子市沼間二―三―一 205

(真 澄) ☎〇四六八―七五―三九九〇

紹介者・石渡みつ枝

住所変更

270 森田 祐山 逗子市新宿四―五―一

(真 澄) ☎〇四六八―七二―六九九八

編集後記

満緑の中、颯爽と小泉新総理が誕生された。神奈川県出身の総理は初めてのこと。地元として心よりお祝い申し上げます。勇気と叡智を以て新時代を築かれることと思ひます。みどりの風に吟ずれば一吟天地の心。